

Graded Direct Method Association of Japan

News Bulletin

第34号

英語教授法通信

1982年11月29日

発行：GDM英語教授法研究会 事務局 〒183 東京都府中市四谷1-50-5 升川潔方 TEL.(0423)66-7716

“It means YOU.!”

升 川 潔

我々の唯一の大黒柱であった吉沢先生が、「ダメジャナイ」と言ってくれなくなってから、もう一年がたった。

この研究会の組織がそのあとびくともしないで、益々会員の皆さんが Our 研究会として活動している現状を見ると、吉沢先生は実に偉大な organizer だったなと実感する。

ふだんから考えていることを述べて、これからの研究会がわれわれ一人一人のものとして発展して行くための活力にしたい。

1. GDMを実践できる人を増やす。

GDMの洗礼をうけた人なら、まず始めに「こんないい方法をぜひ全国の中学校へ広げよう」と考えるにちがいない。私も25年前そう考えた。でもその時、吉沢先生（以下先生の遺志にそって吉沢さんと呼ぶ）は、「GDMについて知っている人が何万人いてもうれしくない。それよりも、GDMを実践できる人が一人でも増えたら、とてもうれしい」とおっしゃって、私はショックをうけた。……これから我々一人一人が、いつどこで誰に見られても GDMです と言える授業ができるように心がけたい。

2. 一人一人が核になろう。

普通の研究会は、役員会のエライ人がいて、色々計画をしてくれて、会員が受身的にそれに参加する。しかしこの研究会は一人一人が動き始めて、まわりに口コミ的に伝えて行くことから始まってきた。私が吉沢さんの存在を知ったのは、当時杉並高校にいた片桐ユズルさんという核を通してであった。今では核もふえて、細胞分裂があちこちに起っているのは、喜ばしい限りだ。ある地域に住みついたら、そこで核分裂をおこして、別の核を生み出しましょう。やがてそれがその地域のグループになり、又支部になればよい。それをするのは、どこかの先生ではなく、It means YOU.! お互いが核融合をおこして大きなエネルギーになれる。

3. 開拓の精神

25年前のこの研究会は、まだ30名たらずで順番に月例会の demonstration が回って来ても1年しない内に第2回目の番が回って来るほどだった。絶対にコワイ批評をしないチャペルさんや、とってもコワイ批評をした阿江さんなど、それぞれにGDMを愛していて、常に新しい英語の見方を開拓しては、やってみせてくれた。現在の現在完了の教え方は、阿江さんが開拓した。ずっと後になって話法

を吉沢さんが見せてくれた。As のいろいろをやったのは片桐ユズルさんと、伊木さんは、「私なんか…」といいながら堂々と let をやってみせてくれた。現在の Teachers' Handbook のヒントは、こうやって30年近く開拓された結果なのだ。教え方のヒントがそこにあったわけではなく、GDM の精神と英語という言語に苦しんだあげくの洞察から生まれたものだ。

この研究会の歴史が進んで、事務局ができたり、Teachers' Handbook が充実して来たりして、組織的に整備したが、それと同時にどうやって教えようかを第一歩から考えるエネルギーは減って来たように思う。勇気をもって開拓し、失敗してみよう。

4. 教條主義に、はまるまい。

その道の權威なるものを作らないというのが吉沢さんの方針だった。だから吉沢さんといえども下手な授業をすれば批評の対象となる可能性があった。会員はすべて対等である。

～ さんが言ったから正しいのではなくて、その人にあったやり方で、その場に適していたから、よいのである。どうか「～ 先生がこういました」といわないでほしい。自分

がどう思うかを基準にしてほしい。～ 先生は、その時、その場の状況から見て発言したのだと思って下さい。これを一般意味論的にいえば、「升川₁₉₈₀は升川₁₉₈₂ではない」ということになる。

5. 30ページ以後に挑戦しよう。

セミナーの初級ではEP 30ページまでしか習えない。そして教える生徒も30ページまでしかできない年令の子供達かも知れない。でも何とかして30ページをこえてほしい。そうすれば、30ページまでが新しい光をあげてあなたの前に現われるはずである。私もいままでも何回EP BK I→II, I→II とやったか知らないが、Teachers' Handbook にないことをいつも新たに発見する。ぜひ、全体をよくさわってみてから「これは象の足だ」と言ってみて下さい。

さあ、一緒にがんばりましょう。アメリカの街角で“Don't be a litter bug. It means YOU.” とかいてあるのをよく見かけます。ここに書いたことは、私も含めて It means YOU! なのです。

(3ページより続く) セミナーで、特にAクラスでのこと「いま～さんのやった中で文法的な間違いが三ヶ所、そのほかおかしいところ二三。それに気が付いた人！ 気が付かなかったということは自分も同じ間違いを平気です

ること！」このことばを胸に突きつけられて怖い思いをした人は大勢います。先生自称「鬼ババ」とはこの時の私達の実感でした。ふつうなかなか云えない。本当に有り難いことばだったと述懐しています。

— GDM Spring Seminar 1983のお知らせ —

日 時：1983年3月27日(日)～30日(水)

場 所：大阪YMCA 六甲研修センター

申込先：〒543 大阪市天王寺区南河堀町111 大阪南YMCA CDMセミナー係 (06)779-8361

生き続ける吉沢先生のことば

東 山 永

「みんなそれぞれやってるやってる」と魄となって吉沢先生が私達の間をとんでいます。先生の温い心のしかし厳しい言葉が会員それぞれの中で生命をもち続けています。そして先生のいらっしやらないことを感じさせない程の偉大なものを残して下さいました。私達ひとりひとりがよいGDMの実践者となるよう常に心掛けなければならないこと、先生のおっしゃった数々の中から二三拾って見ましょう。

「本物のいい英語を読むこと」 本物のいい英語とは日本製でないことは勿論、その他については何も教えて下さいませんでした。「この文はちょっと変だ。おかしいと感じるようになれば英語の力がついてきたことでしょう」と。

EPI II をくり返し丹念に読むことは大事です。しかしそれが頭の中にあるだけではただの知識としか云えません。知識が実際に教えることによって生かされなければならないのです。セミナーでは「Teachers' Handbookをよく読んでそれを正しく実践できるようにすること」と先生は話されていました。

「その都度新しい発見があり新鮮なものであり興奮がなければならない」

セミナーで、月例会で誰でも聞きなれたことばです。この語は前に教えたからそのままやればよい、とか、～さんの授業を見たからそれを頂戴してやりましょうなど安易な気持では教師は勿論、生徒に興奮、新鮮な気持は期待できないでしょう。大変むづかしいことです。

「不親切にしましょう。それは自分で切り聞くものです」 手とり足とりの過保護親切の反対で、教師が生徒に対しての時は、生徒に考えさせ、自発的発表を促すわけであるが、教師自身不親切にされなければならないのです。デモンストレーションのコメントもそうです。この頃はこのコメントが念入りすぎ、親切すぎるのではないかと思うことしばしばです。うまくいかない時、間違ったことをした時、指摘されて解決しないまま、時を過すのはいやなことですが、それは自分で悩み苦しみ解決へともって行かなければならない。他の人の親切、綿密なコメント、アドバイスなどをありがたうと素直に受け入れても、それが不消化のまま過ぎてしまうことが往々にしてあるものです。時間をかければ、ある時ふと「あ、そうか!」とわかる時が必ずあります。

Teaching plan を作る時の態度も大事なことのひとつです。そのつど新鮮さを覚えるよい授業にする為にはplanをそのつど作ることです。教材もいろいろ思いつものから手許に集め、絵や図など画いて見るのもよいでしょう。小間物屋になってはいけませんからその中でいちばん必要な物を選び、無駄を落していくのです。前後の流れが自然に行くように練ります。結果として前と同じものとなるかも知れませんが、こうすることによって生長して行くような気がします。自分で作った teaching plan をもてば、生徒に心から話しかけられるし、生徒からのことばが多少たどたどしくても自発的なものであれば新鮮さと興奮が湧いてくるのです。

(2 ページ下段へ続く)

A READING of English Through Pictures, Book III

小 高 一 夫

*English through Pictures*のseriesには、実にたくさんの学習内容が秘められている。使い方によって、例えばGDMのテキストになれば、英語に関する知識ばかりでなく、英語そのものが使えるようになる技能や、ことばを正しく使って行こうとする態度すら養うことも不可能ではない。

Book IIIは、Book IとBook IIで学んだ英語を踏まえたうえで、さらに英語を発展させて行くが、終始次の基本的態度を貫いている。

"What comes next must everywhere be supported by what has gone before and must make ready for what is to come."

(序文)

そしてこのことは、From General to Particularということばの指導上における拡張(発展)の原則にも支えられている。

ここでは、Book IIIのpp.50~51を主として取りあげて、「基本的態度」の実態を明らかに取りあげてみたい。

[第1段階]

We can see why distances between people are not as important now as they were. They may be bridged in so many ways.

これは、「人と人とが遠く離れて住んでいことが、昔は人間関係の大きな支障になっていたが、敏速な交通機関や正確な通信機関等のお陰で、現在ではそれ程重大視することではなくなった」という意味である。

新出語の"bridged"は、次の第2段落の

中で絵による視覚的な助けを利用して詳しく説明される。また、"distance"はBook II p.58: This distance from A to B is one inch. の中に既出していて、そこでのA, Bという2点²が、ここではpeopleに変っている。distances between people という意味には、点と点による単なる物理的な長さ以外のものが含まれていて、そのことは第3段落へ引き継がれます。

[第2段落]

What is a bridge? Here is a wide river with a bridge over it. The bridge is more than a mile long and is made of steel. It can carry very heavy weights. It is so strong that not only automobiles but trains go across it. It is so high that great ships go under it.



第2段落を読むことによって、"bridged"が、"bridge"という語の持っている「働き」の面が比喩的に使われていることがわかる。

ここでは、(1)絵の使用で意味を明瞭に表わしているが、脚注を見るといろいろな方法を知ることが出来る。

(2) so = very ; so strong that = strong enough to let のように置き換えによる方法、さらにp. 51を見ると、(3) past = what has been before now 他³の既習語による定義、(4) record = From records men can learn what was done in earlier times. 其⁴の新語を含む文章、などの方法がとられている。実際の授業ではこの他に、実物を示す方法があることは言うまでもないが、誤解を避けるためには複数の方法を併用するのが望ましいと思う。

[第3段落]

Language is a bridge between minds, a bridge so strong that trains of thought can go across. Language can bridge distances.

第3段落は、「言語というものは、たとえ人々の考えがさまざまに異なるものであっても、それを伝えて理解し合えるようにさせることが出来る程大きな力を持っている」と述べて、第1段落と第2段落を結合させている。

そして、この段落中の“distance”は、第1段落ではどちらかと言えば物理的な距離を指すのに対して、心理的な距離のことを言っていて、そしてそれは「見えるもの」から「見えないもの」への意味の拡がりであることがわかる。

また、a bridge between minds「心と心のかけ橋」は“minds”が、より particular な“thought”に変わって、a bridge so strong that trains of thought can go across「いろいろな考えが伝わる程強靱な橋」と、言い換えられている。このように、直前の語句や文を具体的に述べる構文がBook III にはしばしば、例えば、p. 119には3箇所も出て来る。

People are the most complex of all organisms, far more complex than any plant. A man would not go on living, he would die, if the millions of millions of cells in his body did not work together in their different ways, each doing its own sort of work.

「すべての有機体の中で最も複雑なもの」という語句を、「他のどんな植物と比べても、それ以上に複雑なもの」と言って、植物を引き合いに出しているのは、前段落で植物が石よりはるかに複雑であるということを書いたからで、さらにその植物よりも一層複雑であると述べているのである。前に教えたこと・比較対照させることによって、その意味が一層明確に印象づけられる効果を生んでいる。そ

して、would not go on living をもっと直せつに言えば would die であることは明白だ。

また、in their different ways「それぞれ違った風に」協調して働くということは、「(血の細胞は血の細胞として、筋肉の細胞は筋肉の細胞として) それぞれ独自の働きを続けながら」協調して働くことであると言い換えてる。曖昧であった句が、直後の句によって分析され具体的に表現されている。

[第4段落]

Language can bridge time as well as space. Ideas can go from mind to mind across the language bridge, and they can come from the past to the present. We can read what men before us wrote and keep their books for others to read in the future.

前段落までは言語が、いわば空間的な距離をうめる役割を果たすことについて述べていますが、この段落ではそれが、時間でさえ超越して人の考えを伝えることに言及している。

第一文は、言語が前段落まで話題にして来た距離(ここではspace)と同様に時(time)も橋渡し出来る、と言ってこの段落の全容をGeneralに知らせている。

Ideaというのはthoughtのparticularですが、第2文の前半ではideaが言語を通して人と人との距離をうめ、心をかよい合わすと言ってspaceにおける言語の働きを明らかにしている。後半ではideaが過去から現在へと伝えられて来ると言って、言語がtimeを橋渡しするという意味を知らせ、さらに第3文では、過去から現在への橋渡しばかりではなく、未来へも伝わることを述べて、過去のことを知り、未来への伝達のための具体的な形が書物であると言っている。

[第5段落]

Here are some of the great books of all time.



Books are the most important records
we have of men's thoughts and feelings,
their ideas and desires.

第5段落は、前段落中で最も重要な意味を持つ books を絵で示すことによって強く印象づける。最後の文中の ideas は thoughts の、そして desires は feelings の、より一層具体的で particular な語であることがわかる。

そしてこの本のわかり易さは、語の意味の拡がりを考え、比較対照し、既習語を十分に活用した巧みな文章の運び方にあることがわかります。

活 動 報 告 (1981年9月～1982年8月)

GDM英語教授法セミナー (東西支部合同)

3月26日～29日 大阪YMCA 六甲研修センター 受講者65名

8月20日～23日 御殿場YMCA 東山荘
受講者 75名

公開講演会

《東日本支部》

6月12日(土) 野口英生会館 参加者120名
「自発的発表力をつける授業」升川潔、
「The Very First Lesson in GDM」
山田初裕。Teaching: take, 服部悠子,
passive 吉沢郁生 if, 東山永

《西日本支部》

6月20日(日) 奈良県文化会館 参加者101名
「GDMとBASIC ENGLISH」室 勝。
Teaching: Irish thru Pictures 中郷
安浩, which(rel.)原田弘, If
片桐よう子。

月例研究会

《東日本支部》

9月26日(土) 婦選会館 45名 (Teaching:
(3:00～5:00) see市村新一、Maori thru Pic-
tures 箕田兵衛、総会)

10月24日(土) 全通会館 41名 (Have, 儀
(3:00～5:00) 間洋子, do with 井草まさ子、
「3回書き直すとBASICにな

るの？」升川潔)

11月7日(土) 婦選会館 38名 (give, 菅生
(3:00～5:00) 由起子, 「B.E.が包含する矛
盾について」室勝)

1月16日(土) 東京YWCA 40名 (Will
(3:00～5:00) be, 片山敦子, enough 猪俣
徳枝, 「基礎日本語について」
吉沢郁生)

2月20日(土) 東京YWCA 35名 (What?
(3:00～5:00) 小松典子, 「視覚の方則」山田
初裕)

3月13日(土) 婦選会館 50名 (Before,
(3:00～5:00) after, 服部悠子, when, 伊場
野昭子, 「Can=beable to は
成立するか？」箕田兵衛)

4月24日(土) 千代田区民会館 30名 (EPⅡ
(3:00～5:00) p.95山本佳子, 同じくp.58
橘川剛一「教科書を使いこな
す工夫」について」唐木田照代)

5月22日(土) 東京YWCA 33名 (My, your,
(3:00～5:00) his, her 大塚敦子, 「ルート・
センスからメタファーへ」小
川和子)

7月10日(土) 杉並産業会館 48名 (Will put,
(3:00～5:00) put黒沢八重子, BEの問題点
牧雅夫)

《西日本支部》

- 9月27日(日) 奈良YMCA西大寺校 20名
(2:00~5:00) (Will be, 福本洋, see 小菅従子, 討論「塾GDM」)
- 10月25日(日) 日本イタリア京都館 26名
(2:00~5:00) (Have, 今仲清子, what? 倉橋裕子, be going to 下川一子, 「英語の音声」 松野和彦)
- 11月8日(日) 日本京都イタリア会館 25名
(1:00~4:00) (EP Il pp108~112 メイヤーさよ子, 「3度書き直すとBASICになるか?」 升川潔)
- 12月12日(土) 神戸学生青年センター 13名
(3:00~5:30) (Cause, effect, 川上いと子, say 原田弘, 「日系アメリカ人の英語の特徴」 矢ヶ崎庄司)
- 1月31日(日) 奈良YMCA西大寺校 10名 (If, 昆布孝子, 「冠詞について」 中郷安浩)
- 2月28日(日) 日本イタリア京都館 20名
(1:00~4:00) (Between, 福本洋, the same, different 小笠原曜子 Spanish thru Pictures Series 1 片桐よう子 「もう一つの英語圏から」 伊達民和)
- 4月25日(日) 神戸市勤労会館 18名 (Give a push, 中郷安浩, which 原田弘, SP Series 2 片桐よう子, 「わたしたち自身の矢語症的現象について」 片桐ユズル)
- 5月23日(日) 日本イタリア京都館 22名
(2:00~5:00) (Before, after, 千馬友子, I ish thru Pictures 中郷安浩, SP Series 3 片桐よう子, 「現象からの報告」 大塩直也)
- 7月25日(日) 日本イタリア京都館 18名
(the same, different 岡谷よし子, be going to 山田和歌子, S P Series 4 片桐よう子 「現場からの報告その2」 安西聖雄)

編集係より

○会員関係教室一覧について — この研究会ができて何十年にしてはじめて、全国の教室をまとめて表にしてみました。1981~82年度の名簿にのっている方々を対象に、10月中旬現在で調べたものです。調査の時間もあまりなく、もれた方、また、誤記など、不備なところもあると思います。お気づきの点、訂正、どうぞお知らせ下さい。この他に、元会員、非会員の方々の教室もあるようですが、そういう先生方には、この会におはいい下さるようおさそい下さい。この調査のために忙しい時間をさいて、奉仕して下さいの方々には次の通りです。新川、迫田、千馬、下川、昆布、福本、川上、水谷、斉藤、吉沢さん — ありがとうございます。

この教室について、入学や見学などしたい方は、この表の連絡先に必ず電話で問い合わせからお出かけ下さい。原則として見学はお断りしている教室もいくつかあります。

○吉沢先生の一週忌にこの号を出します。1982~83年度は、例年のセミナー、研究会、の他に東西各支部で、まずadvanced seminarを計画しました。また、各地で小グループの研究会もふえそうですし、全国の会員の交流がますます盛んになるような気がします。もっとあちこち訪問し合って、勉強し合い、助け合って行こうではありませんか。(紅葉の美しい京都より。片桐よう子)



会員関係GDM教室全国一覽

一 般 の 学 校

名 称	所 在 地	生徒 総数	クラス 数	対 象	1 回 の 時 間	週に	連絡先氏名	電話番号
東京都立向島商業高校	〒131 東京都墨田区八広1丁目	230	5		50分	4 回	山田 初裕	0489-58-4154
神奈川県立川崎工業高校	〒211 川崎市中原区上平間1700	140	3		50分	3 回	降旗 富子	03-902-5958
京都市立紫野高等学校	京都市北区紫野大徳寺町22	39	1		45分	3 回	吉沢 郁生	045-572-1256
京都精華大学	〒606 京都市左京区岩倉木野町137	69	3		50分	1 回	英語科 皆川	075-491-0221
甲南中学校	芦屋市山手町31-3	85	3		90分	2 回	片桐よう子	075-701-7509
聖マリア学院小学校	長崎市若草町6-5	172	4		50分	4 回	足立 正治	078-782-2945
		144	4		45分	1 回	大島 尚武	0958-47-6566

各種学校その他の学校

朝日カルチャーセンター	〒160-91 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル25階	約90	3	小、中 高、大人	80分[1] 90分[2]	2 回	升川 潔	0423-66-7716
サンシャイン文化センター	〒170 東京都豊島区東池袋3-1-3 サンシャインシティ内	23	2	大 人	90分	2 回	島谷 靖子…0471-84-9804	
東京YWCA 駿河台センター	〒101 東京都千代田区神田駿河台1-8	6	1	中学 1年生	90分	1 回	大塚 敦子… 03-339-8985	
横浜アカデミー専門学校	〒221 横浜市中区神奈川区鶴屋町3-32	約 100	8	大 人	100分[1] 90分[5] 50分[2]	2 回	佐藤由美子… 03-947-1276	
鎌倉婦人子供会館 基礎英語クラス	〒248 鎌倉市小町1-11-5 鎌倉婦人子供会館	26	4	小学生	50分	2 回	相原美恵子 045-802-1002	
千葉YMCA	〒260 千葉市真砂5-20-5	154	12	小学生	50分	2 回	岩宮 節子…0472-79-7944	
名古屋YMCA	〒460 名古屋市中区上前津2-5-29	26	2	小学生	70分	2 回	斉藤 直美 052-891-2092	

名 称	所 在 地	生徒 総数	クラス 数	対 象	1回の 時 間	連絡先氏名	電話番号
名古屋 緑社会教育センター	名古屋市中区八丁堀7-11	30	1	大人	90分	山田和歌子	052-892-3637
中日文化センター	一宮市大志1の1一宮名鉄百貨店7F	20	2	小、中	90分	小笠原隼子	0566-41-0613
守山社会教育センター	名古屋市中京区三栄柳馬場角	30	1	大人	120分	水谷 広子	0568-62-7761
K Y E C	金沢市尾山町10-23 K Y E C	47	6	小学生	50分	丹羽美津子	0762-32-0271
京都 Y M C A 学院	京都市下京区五条高倉下ル	9	1	小学生	50分	川上いと子	075-493-1122
仏 眼 厚 生 学 校	京都市西大寺新町1丁目1-1河辺ビル2F	40	1	一 般	90分	岩崎 正春	07492-4-1036
西大寺カルチャーセンター	奈良市西大寺国見町2	7	1	一 般	90分	岡谷よし子	0742-23-2501
奈 良 Y M C A	大阪府北区曽根崎新地1-4-13	56	7	小学生	50分	奈良YMCA 小学生英語科 西田 匡子	0742-44-2207
大 阪 中 央 Y M C A	大阪府北区芝田町1丁目	82	6	小学生	50分	稲垣 登子	06-341-1701
大阪総合ビジネススクール 大阪社会体育専門学校	豊中市東寺内町5-38 タハシビル2F	144	8	一 般	90分	中尾 菊美	0797-34-2087
緑 地 理 数 教 室	大阪府北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル7F	23	3	小学生	50分	秋元 宏	06-338-3110
梅 田 第 2 産 経 学 園	神戸市中央区明石町40 大丸百貨店8階	10	1	一 般	75分	岡谷よし子	0742-23-2501
神 戸 産 経 学 園	西宮市御茶家所町4-14	29	4	小、中	60分	1回 マイカ-まよ子	0797-31-5348
ユニオン英会話スクール		16	3	一 般	90分	2回 スクール	0798-35-8911
		4	1			1回 (下川)	
広島 Y M C A 英語学院 小 中 学 生	広島市中区八丁堀7-11	94	12	小、中	50分	2回 近藤 妙子	082-228-2269
呉 Y W C A	呉市幸町3-1	31	5	小学生	40分	2回 河越 良子	0823-21-2414
アカシア総合学習塾	広島県佐伯郡地御前713-5	2	1	一 般	60分	2回 (担当)	0829-38-1007
福 山 Y M C A	福山市西町2丁目8-15	7	1	小学生	60分	2回 藤原 迪子	0849-26-2211
福 岡 Y M C A	福岡市中央区大名1-12-8	27	3	小学生	50分	2回 志満 秀武	092-781-7410
幸 松 ア カ デ ミ	福岡県行橋市大橋2-6-3	50	8	小学生 中学生	30分 30分	2回 志満 主事 1回 平塚 輝子	09302-2-1432

個人の教室

	名 称	生徒 総数	クラス 数	対 象	1回の 時 間	週に 通に	連絡先氏名	電話番号
〒152	東京都目黒区自由が丘							
	木 目 田 英 語 教 室	20	1	小学生	60分	2回	木目田幸子	045-971-2190
〒176	東京都練馬区豊玉							
	英 語 教 室	20	1	小学生	60分	2回	木目田幸子	045-971-2190
〒167	東京都杉並区西荻北2-19-2 佐々木方							
	道具としての英語教室 飛ぶ教室	15	1	一 般	90分	2回	黒沢 文子	03-394-8310
	東京都品川							
	品 川 ク ラ ス	数名	1	高校生	90分	1回	猪俣 徳枝	045-711-1982
〒125	東京都葛飾区金町2-7-18 藤原方							
	基 礎 英 語 教 室	10	2	小学生	60分	1回	藤原 妙子	03-607-2552
〒102	東京都千代田区二番町10-19 服部方							
	服 部	5	1	小中学生	90分	1回	服部 悠子	03-261-3065
〒180	東京都武蔵野市吉祥寺北町3-15-4 松本荘B-201							
	MAPLE ENGLISH	15	2	小学生	60分	1回 1ヶ月に6回	黒沢八重子	0422-54-6951
〒141	東京都品川区上大崎3-14-17-1103 桑田方							
	桑田方	6	1	小学生	60分	1回	桑田ふく子	03-445-0947
〒113	東京都文京区湯島(湯島ハイタウンの 幼稚園キンダーランド)							
	基 礎 英 語 教 室	6	1	小学生	50分	2回	小松 典子	0471-84-2385
〒135	東京都江東区豊洲1-3-7 小野田エンジンニアリング							
	K.K.(社員研修室)	15	1	一 般	90分	2回	島谷 靖子	0471-84-9804
〒180-04	東京都清瀬市竹丘3-5-2 竹内方							
	竹内方	24	3	小学生	60分	1回	竹内 庸子	0424-91-1838
〒116	東京都荒川区西尾久4-8-12 ハイライフ田端1001 山本方							
	山本方	19	3	小学生	60分	2回	山本 佳子	03-800-0349
〒233	横浜市港南区東永谷1-27-10 浅見方							
	浅見方	13	2	小学生	60分	1回	浅見 操子	045-822-2012
〒215	川崎市多摩区栗谷2-10-32 古川方							
	古川方	5	1	一 般	60分	1回	古川 紀江	044-954-8551
〒245	横浜市戸塚区汲沢町929 五十島方							
	五十島方	10	1	小学生	45分	1回	五十島玲子	045-861-4001
〒215	川崎市多摩区高石1142							
	高石1142	14	3	小一一般	60分	2回	鈴木あさ	044-966-5479
〒242	神奈川県大和市つきみ野							
	つきみのクラス	11	2	小中一般	90分	1回	菅生由起子	045-623-0618
〒231	横浜市中区本牧満坂187-55							
	満 坂 ク ラ ス	7	2	小学生	60分	2回	菅生由起子	045-623-0618

所 在 地	名 称	生徒 総数	クラス 数	対 象	1回の 時 間	週に	連絡先氏名	電話番号
〒231 横浜市中区山田町	山 田 町 ク ラ ス	3	1	中学生	60分	1回	菅生由起子	045-623-0618
〒236 横浜市長谷区片吹136-15		7	1	小学生	90分	1回	柴田恵美子	045-782-6958
〒289-03 千葉県香取郡小見川町小見川811	河 野 英 語 教 室	30	4	小・中	60分	2回	河野 節代・ 服部 文代	04788-3-1928 04788-2-2732
〒270-11 千葉県我孫子市つくし野 アビコビレジ	基 礎 英 語 教 室	25	2	小学生	50分	2回	小松 典子	0471-84-2385
〒339 埼玉県岩槻市西町2-4-35 自宅	岩 槻 外 語 学 院	39	3	小学生	60分	2回	小林 信久	0487-57-5697
〒356 埼玉県川越市藤間21-7 河尻方		18	2	小学生	60分	1回	河尻 朝子	0492-44-7181
〒349-01 埼玉県蓮田市綾瀬24-11 森崎方		5	2	小学生	60分	1回	森崎 文代	0487-68-7708
名古屋市中千種区猪高町猪子石宮根49-1 コミュニティニクス千代ヶ丘S-711 久米方		7	2	小学生 中学生	60分	1回 2回	久米 庸子	052-775-3093
尾張旭市緑ヶ丘100-39 庭山方		9	1	小学生	60分	1回	庭山 洋子	05615-3-5016
岐阜市細畑徳光94-1 岡田方		4	2	小学生	60分	2回	岡田須磨子	0582-46-3616
名古屋市西区大金町1-39-1 大金住宅2-204 武者方		8	1	小学生	70分	1回	武者 幸子	052-531-2066
名古屋市緑区鳴子町5丁目1-23 山田方		11	2	小・中	60分	1回	山田和歌子	052-891-2092
彦根市下後三条町573	B I A C	10	1	小学生	50分	2回	岩崎 正春	07492-4-1036
京都市上京区今出川寺町西入ル	ほんやら洞英会話教室	15	1	一 般	90分	1回	川上いと子	075-493-1122
京都市右京区太秦中山町29	宇多野ユースホステル 英 語 教 室	10	1	一 般	90分	1回	川上いと子	075-493-1122
奈良市平松町	G Q M 婦 人 ク ラ ス	2	1	主 婦	90分	1回	松川 和子	0742-45-7807
奈良市高畑町753 (岡谷方)	E.D.BOOKⅡク ラ ス	6	2	一 般	90分	1回	松川 和子	0742-45-7807

所	在	地	名	称	生徒 総数	クラス 数	対 象	1回の 時 間	週に	連絡先氏名	電話番号
国鉄富田駅前			タカラユキ	英語教室	11	2	小学生	60分	2回	藤原 博子	0726-95-8159
阪急石橋駅前			野 五 坂	英語教室	12	2	小学生	60分	1回	小 菅 従子	0727-21-8309
阪急南千里駅前		南千里センタービル内	南千里センター	英語教室	7	1	小学生	60分	1回	小 菅 従子	0727-21-8309
生徒の家庭へ出張			峯 岸	英語教室	7	1	小学生	60分	1回	峯岸 文子	0722-92-2994
大阪府八尾市若林町2丁目3番地			(株)エナミ	精 機	1	1	一 般	90分	1回	メイヤーさよ子	0797-31-5348
兵庫県揖保郡御津町黒崎1226-5 吉野方					17	2	小学生	50-40分	2回	吉野 哲子	07932-2-2460
岩国市平田1丁目17-22			石 若	英語教室	14	2	小学生	70分	1回	石若以津子	0827-31-2923
福岡市東区千早6-3-3			G.D.M 英 語	教室	17	2	小学生	75分	1回	石井 恵子	092-671-3323
福岡市中央区小笹3-11-12			新 川 美 恵	子 英語教室	6	1	小学生	50分	1回	新川美恵子	092-523-1310